申込方法

コソ研特設サイト（http://jaswe.jp/kosoken）に掲載している申込フォームから申し込みを行ってください。

① 会場ごとに申込フォームを設置しています。希望する会場の申込フォームにアクセスして、必要事項を入力してください。
② 申込後に届く自動返信メールに記載している振込先に受講料を振り込むことで申込完了となります。振込が確認できない場合は、自動的にキャンセルになります。
- 本申込フォームは、セキュリティ機能 SSL を採用している株式会社フューチャースピリッツの“フォームメーラー” サービスを利用しており、本連盟 URL とは異なるサイトへリンクします。
- 受講票の発送は、入金確認後、各会場の研修開始日の 10 日前を目途に順次行います。
- 領収書は、原則 1 名ごとに「ご所属 + お名前」で作成し、受講票に同封します。他の様式を希望する方は、事前に事務局までご連絡ください。
- 各会場のプログラムや使用教場などは決まり次第、特設サイトに掲載します。

QR コード

事前・事後課題

本研修は参加者間の交流を通じて学びを深めることも目的としていることから、研修前に事前課題、研修後に事後課題を設定します。提出された課題は、研修資料として参加者や講師と共有し、研修中だけでなく、研修後のネットワークづくりにも参考にしていただきたいと考えています。申込完了後、事務局より e-mail にて課題や様式について連絡しますので、期日までに必ずご提出ください。　※事前課題の送付は 9 月末頃を予定しています

＜事前課題の項目（案）＞
○ 氏名・属性（都道府県、所属機関、所属部署など）
○ 現在の担当業務とこれまでの経験
○ この研修で学びたいこと、期待していること
○ 所属施設、機関がある地域について（面積、高齢化率、風習、産業など）
○ 関係施設、機関との連携状況について

＜事後課題の項目（案）＞
○ 研修受講後の変化やアクションについて

その他

○ 本研修に関する最新の情報（プログラムや担当講師等）は、随時本連盟ホームページ及び特設サイトに掲載します。
○ 本研修の受講料振込後のキャンセルは、原則として受け付けません。やむをえない理由でキャンセルをする場合は、振込手数料を差し引いた金額を返金します。
○ 本研修の受講にあたり配慮を希望する方は、申込時に内容を記入してください。追って事務局よりご連絡します。

企画 TEAM コソ研！

原田　正樹（日本福祉大学教授）	藤井　博志（関西学院大学教授）	渡辺　裕一（武蔵野大学教授）
中島　　修（文京学院大学准教授）	野村　裕美（同志社大学准教授）	川井　誉久（東京都社会福祉協議会地域福祉部長）
空閑　浩人（同志社大学教授）	所　めぐみ（関西大学教授）	荻田　藍子（兵庫県社会福祉協議会社会福祉研修所副部長）
平井　庸元（全国社会福祉協議会地域福祉部副部長）	川井太加子（桃山学院大学教授）	上野谷加代子（本連盟副会長・同志社大学教授）
勝部　麗子（豊中市社会福祉協議会地域福祉推進室長）	竹田　　匡（日本社会福祉士会理事）	中谷　陽明（本連盟相談役・松山大学教授）
谷口　郁美（滋賀県社会福祉協議会事務局次長）	松本すみ子（日本精神保健福祉士協会理事）	小森　　敦（本連盟事務局長）
加山　　弾（東洋大学准教授）	坂本智代枝（大正大学教授）	木下めぐみ（本連盟事務局企画係長）

お問合せ先

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟　事務局
〒108-0075　東京都港区港南 4-7-8　都漁連水産会館 5 階
TEL：03-5495-7242 ／ FAX：03-5495-7219 ／ E-mail：kenshu@jaswe.jp

コミュニティに強い ソーシャルワーカーを養成する 研修 2017

現任ソーシャルワーカー向け

What is Community based Social Work ?

「コミュニティ」・「地域」・「ソーシャルワーク」って、
わかっているようで、わかってないかも。　あなたはどうですか？

Community Impact Fund / Akaihane Fukushi Kikin
赤い羽根福祉基金

平成 29 年度赤い羽根福祉基金助成事業
「地域共生社会の創造に向けたコミュニティソーシャルワーカー養成研修の基盤構築事業」
主催：一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
後援：社会福祉法人 全国社会福祉協議会　／　公益社団法人 日本社会福祉士会
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会　／　公益社団法人 日本医療社会福祉協会

What is コソ研 ??

子どもから高齢者まであらゆる世代において、生活のしづらさを抱えながら暮らしている人たちがいます。

人々が直面している地域生活課題を解決するために、私たちソーシャルワーカーは、制度の枠組みを超えて、個人だけでなく世帯や家族全体を捉え、多職種と連携・協働しながら「丸ごと」支援する体制をつくる必要性があります。2016 年の社会福祉法の改正により、社会福祉法人に対して地域における公益的な活動が責務として規定され、今や、どの施設・機関においても「地域」を基盤としたソーシャルワークが求められています。

この研修は、地域の様々な施設・機関に所属しているソーシャルワーカーを受講対象としており、2 日間をとおして、複合的な課題や社会的孤立といった地域生活課題をチームで解決し、地域共生社会の実現に向けたソーシャルワークを展開することができるソーシャルワーカーの育成を目的として実施します。

この研修の 目標とねらい

○ ソーシャルワークにおけるミクロ・メゾ・マクロの視点を身につけ、自らの日頃の実践の中からそれらの視点を見いだす

○ 地域住民を主体とした地域づくりへのアプローチに向けた地域生活課題の把握などの基本的な知識・視点を習得する

各会場の 日程・定員・受講料

○ 京都会場　2017 年 10 月 14 日（土）・15 日（日）同志社大学　今出川キャンパス

○ 東京会場　2017 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）日本ソーシャルワーク教育学校連盟　研修室

○ 愛知会場　2018 年　2 月 24 日（土）・25 日（日）日本福祉大学　東海キャンパス

○ 各会場定員　100　名程度

・申込は先着順といたします。定員に達し次第、受付を締め切ります。

・各会場 50 名は社協職員、20 名は社会福祉士会会員、10 名は精神保健福祉士協会構成員、10 名をフリー枠といたします。各枠の定員に達しない場合は、フリー枠に振り替えます。

○ 受講料　各会場　10,000　円（税・資料代込）

受講対象者

社会福祉士、精神保健福祉士国家資格取得後、社会福祉分野での実務経験 5 年前後の者

○「実務経験 5 年前後」とは、前後 2 年（3 年～ 7 年程度）まで含みます。

○「社会福祉分野」とは、高齢・児童・障害・医療・地域等に加え、学校・司法・生活困窮者・ひきこもり・まちづくり・マイノリティ・外国人等への支援も含みます。

プログラム

＜1 日目＞　10：30 ～ 18：00 を予定

1　ソーシャルワークとは

Key Words	内　容
・What is Social Work ? ・ソーシャルワーカーとは何か？ ・自身の立ち位置の理解	・あらためて…ソーシャルワークとは？ ・ソーシャルワーカーとしてのキホン ・「コミュニティに強いソーシャルワーカー」とはどういうこと？ ・分野や所属が違っていてもソーシャルワーカーとしての共通基盤は何？ ・私はソーシャルワーカー？ ・私の仕事をもっと「ソーシャルワーク」にするには？ ・私の仕事の中で「コミュニティに強くなる」とはどういうこと？
講師・プログラム担当	空閑浩人（同志社大学）　野村裕美（同志社大学）

2　コミュニティ（地域）とは何か、そこで暮らすとはどういうことか

Key Words	内　容
・地域への認識の振り返り ・地域、暮らしの場の理解	・コミュニティ（地域）について具体的、実践的に考えてみる ・コミュニティ（地域）との関係を振り返ってみる ・「地域」にいるけれども「地域」で暮らせていない人がいる？！ ・なにがそうさせているのか…ソーシャルワークの視点から考えてみる
講師・プログラム担当	野村裕美（同志社大学）　坂本智代枝（大正大学）　所めぐみ（関西大学）　谷口郁美（滋賀県社協）

3　コミュニティに対するソーシャルワークのアセスメントとは

Key Words	内　容
・アセスメントの視点と方法の理解	・あらためて…ソーシャルワークのアセスメントとは？ ・コミュニティ（地域）の何をアセスメントするの？ ・コミュニティ（地域）のアセスメントはこれを活用しよう！ ・コミュニティ（地域）に関わるのは難しい？！対応策とは？
講師・プログラム担当	空閑浩人（同志社大学）　藤井博志（関西学院大学）　加山弾（東洋大学）　川井太加子（桃山学院大学）

夜　交　流　会

＜2 日目＞　10：00 ～ 18：00 を予定

4　地域を基盤としたソーシャルワークの全体像

Key Words	内　容
・当事者、住民のエンパワメント支援 ・地域生活支援、暮らしの場での支援	・１日目の振り返ってみて ・あらためて…エンパワメントとは？ ・コミュニティ（地域）を巻き込んだ支援とは？
講師・プログラム担当	藤井博志（関西学院大学）　荻田藍子（兵庫県社協）

5　ネットワークと社会資源の開発

Key Words	内　容
・ネットワークの特性と形成方法の理解 ・社会資源開発が目指すものと方法（パターン）の理解	・あらためて…ネットワークとは？ ・これも、あれも社会資源！視点が変われば見えてくる！ ・社会資源の開発って、なんか難しそう・・・
講師・プログラム担当	中島修（文京学院大学）　渡辺裕一（武蔵野大学）

6　「コミュニティに強い」ソーシャルワーカーになるために必要な力

内　容	ま　と　め
・受容、共感…そして人に伝える力、発信する力 ・グループを組織し動かす力 ・組織や団体を経営、運営する力 ・財源を確保、活用する力 ・多機関、多職種と連携、協働、交渉する力 ・ソーシャルアクションをする力	・研修での学びを実践につなげよう！ ・アクションプランを作成してみよう ！ ・コミュニティに強いソーシャルワーカーになろう！
講師・プログラム担当	所めぐみ（関西大学）　坂本智代枝（大正大学）